

2014 年度（平成 26 年度）

特定非営利活動法人

枚方人権まちづくり協会

事 業 概 要

特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会

住 所：大阪府枚方市岡東町12-1-502
(サンプラザ1号館5階)

電 話：072-844-8788

ファクス：072-844-8799

E-mail: hirakatajinkenkyokai@wing.ocn.ne.jp

特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会

特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会は、枚方市と人権施策を推進する協働のパートナーとして、市民の人権意識の普及と高揚を図り、すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現をめざし、市民のだれもが自らの選択により自立し、安心して暮らすことのできる人権のまちづくりに資するための事業などに取り組むことを目的としている。

事業の種類は特定非営利活動に係る事業

1. 人権擁護及び自立支援についての相談に関する事業
2. 人権意識の普及・高揚を図るための啓発に関する事業
3. 人権意識の普及・高揚を図るための人材育成に関する事業
4. 関係諸団体との調整、協力及び連携に関する事業
5. その他目的を達成するために必要な事業

具体的な事業

- 受託事業
 - ① 男女共生フロア相談事業
 - ② 地域就労支援事業
 - ③ コミュニティソーシャルワーカー配置事業
 - ④ 進路選択支援事業
 - ⑤ 人権ケースワーク（人権なんでも相談）事業
 - ⑥ 人権啓発事業
- 自主事業
 - ⑦ 人権啓発事業
- 枚方人権まちづくり協会運営
- 決算概要（活動計算書）

① 男女共生フロア相談事業（枚方市からの受託事業）

この事業は、枚方市立メセナひらかた会館3階「男女共生フロア」において、専門の相談員を配置し、「生き方相談」「電話相談」「法律相談」を行っている。

なお、各相談では、DVに関する相談も行っている。

<内 容>

生き方相談

相 談 員：相談日に1名配置（相談員3名）

相談日時：金曜日 10時～17時、水曜日 13時～21時 （祝日：13時～17時）

<要予約>

業務内容：女性の様々な悩みを女性カウンセラーがサポート。

電話相談

相 談 員：相談日に1名配置（相談員3名）

相談日時：月曜日 10時～正午、 13時～17時

木曜日 13時～16時、17時～21時 （祝日：13時～17時）

業務内容：相談に行きにくい人のために電話で相談ができる。利用者は女性のみで、予約は不要。

法律相談

相 談 員：相談日に1名配置（相談員3名）

相談日時：第2金曜日、第3木曜日 13時～16時

第1金曜日、第4木曜日 17時～20時 （祝日は除く） <要予約>

業務内容：法律上の問題に女性弁護士が相談。一人30分1回限りの相談。

（2014年4月から女性相談のみ）

<2014（H26）年度の業務実績>

○ 生き方相談：総数434件、新規16件、継続418件（うちDV相談128件）

○ 電話相談：総数581件、新規116件、継続463件、不明2件（うちDV相談6件）

○ 法律相談：総数（新規）117件（うちDV相談2件）

② 地域就労支援事業（枚方市からの受託事業）

この事業は、障がい者、母子家庭の母、若年者、中高年齢者等の中で、働く意欲がありながら様々な就労阻害要因のために就労ができない就職困難者に対し、地域就労支援センターを設置し、地域就労支援コーディネーターを中心に、雇用・就労支援施策などを活用し、地域の関連機関（ハローワーク・若者サポートステーション・児童相談所等）と連携しながら雇用・就労の支援を行っている。

<内 容>

相談員（地域就労支援コーディネーター）：1名

相談日時：月～水曜日・金曜日 9時～17時30分（要予約）

業務内容：地域就労コーディネーター活動事業（相談者の就労支援）、地域就労活性化事業（就職のためのスキルアップの講習など実施）

<2014（H26）年度の業務実績>

- 相談件数：総数214件、新規75件、継続139件（うち就職数27件）
- 相談の形式：面談198件、電話16件
- 就労支援のための職業能力開発講座の開催
 - ・ 就労支援パソコン講習会：事前研修・日商PC検定基礎ワード・エクセル対策講座（6月23日～7月11日の13日間） 参加者(延べ)55名
 - ・ 介護職員初任者研修：介護職の技術の習得と資格取得（9月17日～10月23日の17日間） 参加者16名
 - ・ 就職支援セミナー：「確実な“就職力”をつけるために」（10月24日） 参加者21名
 - ・ 日商簿記3級及び弥生会計講座：簿記技能の習得（1月21日～2月13日の12日間） 参加者14名

③ コミュニティソーシャルワーカー配置事業（枚方市からの受託事業）

この事業は、地域における高齢者、障がい者、ひとり親家庭など、援護を要するあらゆる人、又はその家族・親族等の支援を通じて、地域の要援護者等の福祉の向上と自立生活の支援のための基盤づくりを行い、地域福祉の計画的な推進に資することにより、健康福祉セーフティネット（いきいきネット）の構築を図っている。

枚方市では、5か所の「いきいきネット相談支援センター」にコミュニティソーシャルワーカーを設置し、福祉に関するあらゆる相談（福祉なんでも相談）を実施しており、当協会は、市全域を担当している。

<内 容>

相談員（コミュニティソーシャルワーカー）：1名

相談日時：月～金曜日 9時～17時30分

業務内容：地域福祉の計画的推進への支援業務、セーフティネット体制づくり業務、要援護者等に対する見守り・相談業務、地域福祉の向上のため市町村に対しての情報提供等を行っている。

<2014（H26）年度の業務実績>

- 相談件数：総数730件、新規53件、継続677件
- 相談の形式：面談91件、電話491件、訪問148件
- 講演会等の開催

- ・ 映画会「わたし」の人生 ～我が命のタンゴ～（9月25日）

メセナひらかた会館（多目的ホール） 参加者279名

④ 進路選択支援事業（枚方市からの受託事業）

この事業は、進学意欲を有しながら、経済的な理由により高校・大学等への進学が困難で、支援が必要な生徒に対して、家庭の状況に見合った適切な相談や個々の課題等に対応したサポートを行い、生徒が積極的に自己の進路を考え、将来に展望が持てるよう支援を行っている。

事業の概要は、相談員が支援の必要な生徒や保護者に対し、奨学金や進路等に関する相談業務を行い、情報を提供するとともに、必要に応じて学校や関係機関と連携し、進路選択の支援を行っている。

<内 容>

相 談 員：1名

相談日時：火曜日 13時～17時及び18時～20時（要予約）

業務内容：奨学金、進路等の相談、情報提供、学校訪問、関係機関へのコーディネートなどの相談者に対する支援。

<2014（H26）年度の業務実績>

○ 相談件数：総数63件、新規53件、継続10件

○ 相談の形式：面談59件、電話4件

⑤ 人権ケースワーク（人権なんでも相談）事業（枚方市からの受託事業）

この事業は、専門の相談員を配置し、市民が人権侵害を受け、又はその恐れがある場合において、相談事案に応じた助言及び情報提供を行うとともに、市民が自ら問題解決できるよう支援を行っている。また、男性DVに関する相談も行っている。

<内 容>

相 談 員：相談日に1名配置（相談員3名）

相談日時：月～金曜日 9時～17時30分（木曜日は、男性のDV相談含む）

業務内容：人権に関するなんでも相談

<2014（H26）年度の業務実績>

○ 相談件数：総数183件、新規104件、継続79件（再開含む）

○ 相談の形式：面談65件、電話114件、訪問3件、メール1件

⑥ 人権啓発事業（枚方市からの受託事業）

人権啓発事業として、“人権文化セミナー”、“人権週間事業”、“連続講座「生きること」および「生きること」冊子作成事業”、“北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業”を実施している。

1. 人権文化セミナーは、あらゆる人権問題について学び、市民自らの人権意識を高めることを目的に、高齢者、女性、子ども、障がい者など、さまざまな人権問題についての講演会等の事業を開催している。

< 2014（H26）年度の業務実績 >

○ 映画会の開催

- ・ 映画会「ペコロスの母に会いに行く」（10月15日）
メセナひらかた会館（多目的ホール） 参加者 360名

2. 人権週間事業は、毎年12月4日から10日の人権週間にあわせて、市民に対して人権意識の普及と高揚を図るため、コンサート、映画上映、講演会、街頭啓発等を実施し、人権尊重のまちづくりの一助として実施している。

また、北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業は、2006年に「拉致問題その他北朝鮮による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、12月10日から16日の1週間を「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と位置づけられている。拉致問題や北朝鮮による人権侵害問題について、市民の関心と認識を深めるため北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業を実施している。

今年度は、蓮池薫さんを講師にお招きし、「人権週間事業・北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業」として同時開催とした。

< 2014（H26）年度の業務実績 >

○ 講演会等の開催

- ・ 街頭啓発（枚方市駅、樟葉駅、JR長尾駅）（12月1日） 参加者 44名
- ・ 講演会 夢と絆 ～「北」での24年間、そして“今”～
講師：蓮池 薫さん
（12月2日） 枚方市民会館（大ホール） 参加者 1,448名

3. 連続講座「生きること」は、毎年複数の講師を招き、それぞれの講師のさまざまな立場での考えや思いを一人称で語っていただき、その生きざまや体験を通して、参加者とともに「生きること」について考えるために実施している。

また、「生きること」冊子作成事業は、講座の内容を冊子に作成（1000部）し、市内の公共施設などに配布して啓発を行っている。

<2014（H26）年度の業務実績>

○ 連続講座「生きること」開催（サンプラザ生涯学習市民センター）

- ・ 演題「ホームレスはビジネスパートナー ～ビッグイシューの試みから～」
（講師：有限会社ビッグイシュー日本共同代表 佐野 章二さん）
（10月17日） 参加者 38名

- ・ 演題「民族学級と出会えて
～外国人の子どもたちから見える多文化共生の街づくり～」
（講師：NPO 法人コリア NGO センター事務局長 ^{キム}金 ^{クァンミン}光敏さん）
（10月24日） 参加者 33名

- ・ 演題「生きる力を、人から人へ
～「福祉」という仕事を通じて学び得たこと～」
（講師：有限会社はなまる デイサービス統括 上西 祐介さん）
（10月28日） 参加者 43名

- ・ 演題「全国24,681局の郵便局窓口で貯金を達成」
（講師： 神原 謙一さん）
（10月31日） 参加者 40名

⑦自主事業（人権啓発事業）

協会内において市民活動部会を設置し、会員自らが企画・運営を行い、市民への人権啓発を目的に、さまざまな事業を実施している。

< 2014（H26）年度の業務実績 >

- 夏休み親と子の人権映画会 映画「アンネの日記」
(8月13日) 枚方市民会館（大ホール） 参加者 318名
- 現地研修会「神戸市立海外移住と文化の交流センター」ほか
(11月14日) 神戸市 参加者 42名
- 沢 知恵 弾き語りコンサート
～ハンセン病回復者との出会い～
(2月18日) メセナひらかた会館（多目的ホール） 参加者 319名
- 協会ニュース「人権まちづくり新聞」 年3回発刊（8,000枚配布）
協会会員・各公共施設・公立小中学校等に配布

枚方人権まちづくり協会運営

1. 総会、理事会の開催

- 5月22日 総会の開催
- 5月22日、10月27日、3月26日 理事会の開催

2. 企画運営委員会

協会の運営を円滑なものとするために設置しており、年12回開催した。

構成：理事長、副理事長（2名）、理事（市民活動部会長）、人権政策室長、事務局

3. 市民活動部会

会員自らの主体的な活動・運営を行うために設置しており、年10回開催した。

構成：部会長、部会委員7名、事務局

4. 協会会員数（2015年3月31日現在）

- 個人会員 215名
- 団体会員 28団体